



連谷地区新年祝賀会

正月四日、午後五時から公民館連谷分館、同コミュニティ主催の新年祝賀会が五十余名の参加の元に盛大に行われた。

新しい年を迎え、連谷地区に居住する住民が一同に会し新春を寿ぎ一献を傾けながら地区の問題、将来展望を語り合うその意義は大切な事と思われる。

この催しに毎年ご臨席いただいている穂積市長さんは東京での所用が長引き、高速道路の途中から「どうしても間に合わない、地区の皆さんに宜しく」との連絡を頂いた。

来賓の今枝宗一郎衆議院議員さん、峰野修県議会議員さん、柴田賢治郎市議会議員さんのご臨席を仰ぎ、地区民の忌憚のない意見が飛び交い、地区の明るい展望がもてる有意義な新年祝賀会となった。

来賓祝辞

今枝宗一郎衆議院議員さん

昨年はアベノミクス、経済効果で日本全体の景気は良い方向に向う状況かなと思います。年金の話ですが、実は株価が上がっても「俺は株を持っておらんぞ」と、よく聞きますが、

実は皆さんの年金は皆さんが払っている年金を株式投資、その運用益で皆さんにお返しするシステムで、

例えば、消費税が上がってもその分他税を控えているとか、新しい予算を組んでしつかりとフォロワーができる態勢を今、作らせていただいております。そして、東京オリンピックが昨年決まりました。こういう明るい話題や課題も一歩一歩解決をしていくながら、この、連谷地区も

良くしていくように私も一生懸命、皆様と共に頑張りたいと思います。新幹線 七時十八分で東京へ向かいますので、これで失礼いたします。

峰野修県議会議員さん

昨年、一番印象に残っているのは愛知県の一番の先駆けとして小水力発電の灯火が灯ったのが四谷の千枚田で愛知県としてのPRもすっかりさせて頂いております。

あいち森とみどりづくり税事業で四谷地内において間伐が行われます。この事業も今年から五年延長が決まりました。森林整備は地域の安全を守るという意味でも大変大切であり、とにかく電線の通っている公道沿いの間伐を早くして停電

のない地域をと思っております。この税は非常に限定された事業でありました。人工林や保安林でなければ駄目だという事だったので公道沿いに関してはそういう条件を撤廃し、優先的にやっつけていこうではないかという事で制度変更が認められ税が使いやすくなりました。獣害対策もかなりの予算が付き、ネットの購入費は全額補助になったこととか、補獲費用も上乘せができるようになったという事で、鳥獣害対策とか森林整備が前進しているのは実感しております。

海老パイパスについては追加予算が付いてきましたのでかなりスピードアップして農協の橋の上辺りへ接続します。第二期工事で滝上橋上の所へ向かって行きます。ご承知のように設楽ダム関連事業として、設楽ダム本体の話が昨年の十二月十八日、大村知事が着工に向けての国への答申をしましよという事で方向が固まったと理解して頂ければよろしいかと思えます。

また、来年四月には新東名インターチェンジがオープン。多くの人の交流が始まるうとしています。連谷地区も愛知県の内でも「地域の環境」として有名な地域になっております。訪れたその人達をどのように迎え入れるか、私達の地域はやはり若い人達に住んでいくようにどうしたら良いのか、皆様と一緒に

考えていこうという事ではないかと思っております。

柴田賢治郎市議会議員さん

今枝衆議院議員、そして毎年来て頂いている穂積市長、そして峰野県議員。この地区にはこのようにしつかりとした連帯、皆様繋がっている姿を見させて頂いて、私、市会議員でございますがしつかり、皆様と共にこの地区を安心して生活できるように頑張っていきたいと思っております。ぜひ是非、その決意を皆様に伝えると共に、この一年、頑張りますので、よろしくお願いいたします。



編集 連谷地区情報通信員小山舜二

サンタのおじさん

イブの二十四日、連谷の有志林義明、原田佳治、小山孝夫、高橋賀津男、大橋剛、小山泰徳は今年もトナカイが引くソリの代わりに軽トラにイルミネーションを飾り地域のよい子の家庭を慰問。ビックリし泣くやら喜ぶやらの子供達に「サンタのような善い大人？ になりんよ：」と諭し、自腹で出しあつた品物をプレゼント。寒い夜空にサンタ達はブルブル震えながらも、ふるさとの明日に篤い想いを満喫した。



新年初歩き

正月二日に恒例となった初歩きを林 義明、高橋賀津男、大橋剛、原田英壽は東栄温泉(24^キ)目指して実施した。

この行事(サンタも同様は地元消防団の団員だった当時から継いでいるもので一寸やそこらの「浮いたか瓢箪」ではない、信念をもった活動と(舜)は評価する。

早朝七時、連谷小学校に集まったメンバーは試練の行程に口数はいやに少ない。

千枚田を通り、仏坂トンネルを抜け振草溪谷沿いの県道をへたへた。そこへおつ母あの運転する車で原田英壽(公民館長)が追いついた。一同、「これもありか」とブツブツ。

何とか目的地の東栄温泉に到着。湯に浸かり呑む酒はバカ美味かったとか。帰路は今年もやっぱり車だっただけな。

視察

二月一日、幸田町産業振興課の引率で鷺田、東部環境を守る会三十五名が四谷の千枚田の概要、活動状況及び小水力発電施設の視察に訪れ(舜)が対応する。

通風筒

◇：暮れも押し迫った二十九日、愛知県新城市門谷の鳳来寺山で、樹齢八百年のスギ「傘杉」の巨木に、長さ七・五メートル、重さ三十キロの大しめ縄が飾り付けられ、迎春準備が整ったII写真。

◇：スギは高さ六十メートル。枝の広がり方から傘のように見え、名木として地元で親しまれている。「鳳来寺山傘杉しめ縄保存会」のメンバーや地元の小学生が大しめ縄をかつぎ、ふもとから石段を登って運び込んだ。



◇：「今年一年無事に過ごせました。住民が来年も健康に過ごせませうように」と保存会長の小笠原則彦さん(六八)。一年の感謝と新年への期待を込めてしめ縄をくくりつけた。

中日新聞 日刊 十二月三十日(月)
社会 広域(三面)より抜粋

高さ日本一の巨木にはしめ縄が飾られていたが門谷地区民の高齢化が進み、一時期は中止されていた。区民は「それでも、日本一の高さと樹齢八百年を誇る名木だし、なんとか、また、しめ縄を飾らまいか」とあらためて保存会を結成。昨年から再開した。その、しめ縄のワラは環境に優しく育てられた「四谷の千枚田」の糯ワラを稲熊富平、(舜)が提供している。

余談ではあるが長篠合戦で城を守る奥平貞昌は籠城。兵糧攻めに合いたニシと山菜で餓えをしのいだという。五月の長篠合戦のぼりまつりにも「四谷の千枚田」のタニシが毎年奉納されている。

千枚田の百姓は一戸当たりの耕作面積も少なく「銭にもクソにもならん：」と嘆きながらも世の中の裏方として黙々と守り続けている。

行 平成二十六年一月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二